



議会だより

# つなんまち

2016年4月20日発行

**No.200** Tsunan-Town

芦ヶ崎小学校 竜神太鼓でお出迎え

祝入学おめでとう



上郷小学校の新入生

## 3月定例会 3/2~3/18

第200号記念特集	②~⑤
平成27年度補正予算・平成28年度予算	⑥
陳情・発議案・条例制定・改正	⑥~⑦
一般・特別会計討論	⑧
総括質疑	⑨
一般質問(町政を問う)	⑩~⑮
委員会レポート	⑯~⑰
私もひと言	⑱

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

## 町民と議会のかけはし

### 特集企画号

昭和40年5月5日の創刊号「津南町議事会会報」が発行され、その後も議会活動を広く町民に知ってもらおうと紙面のさらなる充実を期して、議会広報特別委員会を設置して議員自らの編集にこだわりながら発行してきた「議会だより」が節目の200号を迎えました。記念特集として、最近の町の歩みを農業、観光、福祉、教育に焦点を当てまとめました。議会だよりは、町の施策の最終意思決定機関である議会における審議の経過をみなさまにお知らせすることが最大の使命と考えています。「継続は力なり」200号を通過点として、さらなる研さんを重ねてまいります。

## 未来に羽ばたく農業

安心安全な農畜産物の提供と環境にやさしい農業の実践、そのためには農村社会における高齢化、後継者および配偶者、兼業化などの問題に対処しつつ、土地利用型農業の体質強化を目指し、生産性の高い農業と所得をあげることが必要です。更に農業経営体により、意欲のある農家に農地集積や地域の組織化、担い手の育成など諸政策を進めなければなりません。これまでに築いてきた農業の施策を追ってみました。

### 新たな可能性の広がり・資源としての雪から生まれる価値。

● 苗場山麓開発事業（昭和48年～平成15年）で整備された、広大な農地での安心安全な農産物の生産を進めています。

#### 平成17年度

● 「新生津南町自律に向けた町づくり報告書」作成

総人口11,719人  
うち農業就業人口1,722人  
平成27年推計1,100人

● 雪下になじん、アスパラガス、スイートコーンなど高原野菜の産地となりました。

#### 畑作販売額：11億円

● 同年「稲作振興」でいもち病に強く、ニセ魚沼コシヒカリ対策に有効な《コシヒカリBL》作付開始

● 稲作販売額：24億円を超える

● 19年ぶりの豪雪（役場前消雪平成18年5月5日）により、畑作で特に「雪下になじん・アスパラガス」販売が低迷しました。

#### 平成21年度

● 鳥獣被害（さる）対策の学習会や捕獲報奨金を支給（1頭2万円の報奨金）。平成22年度に町外者がクマに襲われるなど2件の被害が発生しました。

● 翌23年度「町鳥獣被害防止計画」作成。農作物被害状況を把握。翌24年度被害金額が1,340万円に達しました。具体策として、①電気さく設置補助など実施し現在も継続中です。

#### 平成23年度

● 「津南町認証米制度」スタート  
初年度は、農家145戸が申請。栽培面積256ヘクタール14,181俵が認証され、助成金1俵当り1,500円が支給されました。認証米は公的な保証で信用度が高く、安心して取り扱われるとの声が多くあります。また、TPP等を考えた時に、津南米ブランド化は有効であり大切に考えます。今後生産を増やし、品質向上につなげると共に、町のリーダーシップに期待します。

● 長野県北部地震被害状況  
農地・農業施設の被害は、265箇所7,500万円。原発事故による風評被害対策を万全に講ずるよう議会提言しました。

#### 平成25年度以降

● 「津南町認証米制度」助成を継続し、助成金1俵当り1,000円支給。平成28年度では、1俵当り500円支給し、作付面積10a当り3,000円を加算します。

● 単独、広域集落を対象に、農地維持や資源向上機能に支援をする「多面的機能支払交付金」が開始されました。

● 農地中間管理機構（県農業公社）に地域農地を20%集積することにより、「地域集積協力金」や農業経営転換やリタイヤする農業者等に「経営転換協力金」が支払われます。（担当 村山道明）



新植アスパラガス

## 地を生かす観光

少子高齢化が急速に進展する社会変化のなかで、高い付加価値を生み出すことができる新たな産業分野として観光が期待されています。人々が精神的な豊かさを求めるようになりました。名所見物が主役の従来型の観光振興だけではなく自然、歴史、文化、産業、人など独自の地域資源を活用することで、地域住民が主役になり誇りを持つことができる新しい観光を創造することが必要です。

津南町においても、先日行われた「津南雪まつり・スカイラントーン」と昨年認定された「苗場山麓ジオパーク」は正に地域らしさを体験できるものであり、大きな可能性を秘めています。



願いを込めてスカイランタン点火

### 津南雪まつり

今年の「第40回津南雪まつり」は2,000個のスカイランタンが夜空に舞う国内最大の規模であり、ニュー・グリーンピア津南会場は11,000人の観光客であふれ、津南町観光の目玉イベントとなりました。当日の町内宿泊施設は昨年の9月には満員になり、お土産付プレミアム駐車券は9時間で売切れ、事前予約の駐車場も2週間で満車、ツアーバスにおいても日本全国33の府県から申し込みが殺到し、1月19日には募集定員に達しました。全てにおいて予想を超える申し込みがありました。町民の雪まつりではなく、なつたとの意見や、経済効果などの課題もあります。全国から来てもらえるものを作ったことは自信になりました。

### 苗場山麓ジオパーク

平成26年暮れに認定された「苗場山麓ジオパーク」は、ジオ（大地）、エコ（生態）、カルチャー（歴史文化）の三要素で成り立っています。総面積は栄村と津南町で441.8㎡あり、日本一長い信濃川（367km）が流れ、標高差2,000mの地形に3mの積雪となる地域です。そこ

# 観光

には多種の動植物が育ち、3万年前から私たちの祖先が生活してきたことが、ジオパークとして認められました。この認定は両町村の観光には重要であり、インバウンドの時代に長期滞在を目的とした体験型観光には欠かせない要素があります。この地を生かした農業と連携し、今後の誘客に期待するところです。引き続き苗場山麓ジオパークガイド養成講座を開き、認定検定を行い町民の意識向上と継続に努力していきます。

（担当 中山弘・恩田稔）



広大なジオサイト 河岸段丘

### 苗場山麓ジオパークの経緯

- 平成23年12月 津南郷歴史自然環境活用検討委員会発足
- 平成24年5月 日本地球惑星科学連合大会参加
- 平成25年12月 めざせ！苗場山麓ジオパーク振興協議会設立総会開催
- 平成26年2月 学術委員会振興協議会合同会議開催
- 平成26年3月 日本ジオパーク認定申請書提出
- 平成26年4月 日本地球惑星科学連合大会にて公開プレゼンテーション
- 平成26年8月 現地審査
- 平成26年8月 審査結果発表「『保留』」
- 平成26年9月 日本ジオパーク全国南アルプス大会参加
- 平成26年10月 新潟圏域ジオパーク推進地域意見交換会参加、三陸ジオパーク研修会参加
- 平成26年12月 日本ジオパーク認定
- 平成27年3月 日本ジオパーク中部ブロック事務局会議開催
- 平成27年6月 ジオパーク学術指導委員会発足
- 平成27年7月 表参道エスパスにてジオパークトークセッション開催
- 平成27年10月 日本ジオパーク霧島大会にて日本ジオパーク認定証授与
- 平成27年11月 第38回ユネスコ総会にてジオパークの事業化決定
- 平成28年3月 新潟圏域ジオパークガイド意見交換会、ジオパーク新潟連携推進ミーティング参加
- 平成28年3月 ジオパーク新潟国際フォーラムプレイベント参加

## 住み続けられる津南を目指して

全国的に少子高齢化の波が押し寄せ、社会保障の財源不足をどう乗り切るかを政策の柱として国をはじめ各自治体に取り組んできました。津南町の福祉環境も大きく変わり、高齢者施策では、介護保険制度によって大きな変革がなされました。また、地域の医療体制も激変し、今、津南病院の位置づけが問われています。

### 高齢者施策

昭和56年から特別養護老人ホーム「恵福園」が、平成6年から介護老人保健施設「みさと苑」が事業を開始しましたが、当時はまだまだ高齢者を施設に預けることに抵抗があり、後ろめたさを感じながら預けざるを得ない状況でした。介護保険制度により徐々に介護を専門家に任すことに違和感がなくなり、介護施設も身近に感じられるよ

うになりました。高齢化の進展により要介護認定者が増え続けることで介護施設が不足してきています。しかし、財源とのバランスが難しく、国は在宅介護に重きを置き、在宅介護の負担軽減策が打ち出されています。また、地域の実情に合ったサービスを目指した地域密着型サービスが始まりました。平成28年度から、「訪問看護ステーション」が稼働し、安心して在宅生活が継続できる環境を整えています。

高齢者介護施設の推移 (定員：人)

施設名	平成14年	現在
恵福園	105	105
みさと苑	110	110
ケアハウス	50	50
グループホームひまわり	18	15
グループホームいなほ		9
グループホームゆうゆ		17
スマイルハウス		8
恵福園なかつ		29
恵福園ほくぶ		29
みさと苑		H28 予定 39
入所施設 合計	283	411
恵福園 デイサービス	35	35
みさと苑 デイケア	50	40
デイホーム ひまわり		3
スマイルハウス デイサービス		12
恵福園なかつ小規模多機能型居宅介護		登録 25
恵福園なかつ デイサービス		12
スマイルホームこたね小規模多機能型居宅介護		登録 25
健康増進センターみさと		20
恵福園ほくぶ小規模多機能型居宅介護		登録 25
恵福園 訪問介護		
みさと苑 訪問介護		
津南病院 訪問看護		H28 予定
在宅支援施設 合計	85	197

### 障害者施策

平成18年度に障害者自立支援法が制定され、「措置制度」から「契約制度」へと変わり、地域生活への移行が進められてきました。当町では障害者専用グループホームや、就労継続支援施設が開設され地域での受け皿が整備されてきました。また、平成28年度には地域活動支援センターの新築計画もあり、障害者を取り巻く環境が整いつつあります。

(担当 石田タマエ)

当町においては、障害者福祉施設が徐々に整備されつつあり心強く思います。本年4月1日より「障害者差別解消法」が施行され、差別がなく誰でもが安心して住みつけられる地域社会を目指していきたいものです。



津南町家族会  
会長 桑原義明さん

### 津南病院

#### 「あれから10年」

病院事務局長 桑原次郎  
平成14年は、病院にとって、院長不在という危機的状況のときでした。この時期は医師法の改正により、各科の医師が大学へ引き揚げとなり、決算書の事業報告書の中にも医師派遣の厳しい状況が綴られています。その様な中、地元出身の村山伸介先生が院長代行としてこの間を勤められました。今日あるのも、その当時の病院スタッフの並々ならない努力があったからこそと思われれます。

さて、その当時から10年以上が経過した現在、医療を取り巻く状況は違った意味において大変厳しい状況です。医師・看護師不足は増々深刻となり、少子高齢化が進展しています。少ない医療資源で最大限の医療の提供、そして成果を上げるために、医療と介護の連携をさらに強め、地域全体が慢性期病床の受皿となり得るような、そんなシステムの構築を目指し、今年度訪問看護ステーション、地域連携室を立ち上げるこの目途がつけました。

## 未来を担う人づくり

子育て・教育環境の充実には、津南町が伝統的に最も力を入れてきた分野であり、「一に人材、二に人材」の今日、ますます重要性を増しています。雪国津南で育ったことを誇りに思い、時代を切り拓いていく「人」を地域一丸となって育てていくことが必要です。

### 安心して子育てできる環境をこれからも

「初めての子育てで不安」、「町外から嫁いだので知り合いが少ない」、「仕事との両立が大変だ」、「家庭内の事情を抱えている」などさまざまな悩みがある人を支え、「胎児から就労まで」というスローガンのもと切れ目のない子育て支援体制を進めています。

- 初めて親になる人向けの「BPPプログラム」の開設
- 子育て支援センター「つなっぺ広場」の設置
- 保育料の軽減、通園通学補助、高校卒業までの医療費補助などの子育て世代の経済的負担軽減
- ひとり親家庭への支援拡充
- 苗場山麓シオパークを通じた郷土教育やキャリア教育

### 少子化への対応

昨今、出生数が60人台、あるいはそれを切る年も出てきました。少子化により、保育園、小中学校の適正規模が見直され、統合が進むこととなりました。

- 平成22年 三箇・津南原小学校が閉校し、津南小学校と統合
- 平成24年 被災した上郷中学校が閉校し、津南中学校と統合
- 平成27年 外丸保育園が閉園
- 中津・外丸小学校が閉校し、津南小学校と統合

一世紀以上の歴史がある伝統校も閉校し、地域にとっては寂しいことであり、議会でも意見が分かかれ、最後は苦渋の選択でした。町民のみなさんと共に、子どもたちの声が響く明るい地域づくりを真剣に取り組みます。

### 子ども一人一人に対応 特別支援教育

小中学校では、障害をもつ児童生徒に向けた特別支援学級を設置し、支援を拡充してきました。

また、町独自で各学校に学習支援員等を置き、子どもたちを支える体制を整えてきました。平成23年度から訪問相談員を置き、27年度からは臨床心理士に巡回をお願いし、さらに拡充を図っています。



津南を学習する小学生

### 魚沼の子どもにも教育の機会を地域に日本に世界に羽ばたけ

豪雪地であり、交通が不便な地域に生まれ育っても、意志ある子どもに高等教育が受けられるようにと願い、平成18年県立津南中等教育学校が開校しました。

地域の支えで、開校10周年を迎え、実績を積み重ねています。  
(担当 桑原悠・半戸義昭)

### 200号記念挨拶



津南町議会議員  
草津 進

昭和40年5月5日、議員

の自費出版で始まった議会だよりは、以来休むことなく200回の発行となりました。「継続は力なり」です。まず、ご協力いただいた町民のみなさまに感謝申し上げます。

さて、議会だよりは、議会活動を町民のみなさまにお知らせし、ご理解いただき、町民と議会の意思疎通を図るために大事な役割を果たしています。年々編集技術が向上し、内容を充実させてきました。が、町民により親しく読み続けていただくためには日々の努力が必要です。町民の声を大切にし、他自治体の議会だよりにも目を通しながら、町民参加の企画の充実を図ってまいります。

人口減少が続き、議員の定数も少なくなっているなかで、町民との意見交換を第一に、「住んで良かった」、「住み続けたい」と思う町づくりを取り組んでいくことを約束し、あいさついたします。

平成28年第1回町議会定例会が3月2日から18日まで開催されました。初日と2日目は町長施政方針の表明がされ、10人が一般質問にたち、活発な議論が交わされました。会期中に合同委員会が開かれ、平成28年度予算案について審査を行ないました。町長施政方針と平成28年度予算案について、総括質疑6名と、討論2名が行ない、条例改正、平成28年度予算を可決。議員発議条例1件、議員発議による意見書1件を可決し、閉会しました。

## 平成28年度予算

# 一般会計 75億300万円

### 重点施策の主な項目

\*印は新規事業

#### 民生費

- \* 障害者福祉施設建設 (町ふれあいセンター跡地に)
  - 1 億3, 220万円
  - 2 億1, 633万円
- 障害者介護給付費 1 億3, 220万円
- 施設入所給付費の拡充等 2 億1, 633万円

#### 衛生費

- 津南病院補助金 3 億4 4 8万円
- 子ども医療助成 2, 074万円
- 通院、入院ともに、18歳年齢到達までとする。

#### 農林水産業費

- 多面的機能支払交付金 1 億5, 538万円
- 集落の農地維持、資源向上機能に支援する。
- 小水力発電事業 6 2 7万円
- 認証制度補助 1, 500万円
- 認証米に補助及び特別栽培米作付取組面積に助成

#### 商工費

- \* ニュー・グリーンピア津南整備 3, 000万円

#### 土木費

- 町営住宅建設 8 億3, 053万円
- 大船団地24戸・美雪町4戸分を建設する。
- 町道改良舗装事業 2 億4 5 0万円
- 道路の改良舗装、水路工事等

#### 教育費

- 津南小学校施設整備 2, 400万円
- 駐車場拡充整備
- 小中学校特別支援教育振興事業 4, 564万円
- ジオパーク推進事業 3, 588万円

### 特別会計

- 国民健康保険特別会計 12 億9, 996万円
- 介護保険特別会計 18 億1, 066万円
- 後期高齢者医療特別会計 1 億1, 066万円
- 下水道事業特別会計 3 億9, 383万円
- 農業集落排水事業特別会計 2 億9, 837万円
- 簡易水道特別会計 1 億3, 993万円
- 病院事業会計 19 億4, 176万円



### 平成27年度一般会計補正予算と主な事業

原案どおり可決成立しました。	主な歳出増	原案どおり可決成立しました。	特別会計補正予算
補正額 ▲1億2, 813万円	津南病院補助金 2億5, 984万円	補正額 3億6, 809万円	原案どおり可決成立しました。
総額 77億3, 614万円	上郷クロップ座委託金 1, 000万円	補正額 81億4, 233万円	○ 国民健康保険特別会計
主な歳入増	アドベンチャーキャンパス美証 7, 767万円	81億4, 233万円	補正額増 119万円
低所得高齢者向け給付金 4, 500万円	津南ロツジ改修等	地方交付税 3億3, 520万円	総額 13億4, 011万円
地域住宅交付金 ▲5, 899万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	(主在内容) 保険者負担増
障害者自立支援給付費	津南ロツジ改修等	地方交付税 3億3, 520万円	○ 介護保険特別会計
国庫負担金 ▲3, 750万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	補正額増 800万円
主な歳出増	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	補正額増 17億1, 058万円
低所得高齢者向け給付金 4, 500万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	(主在内容) 財源変更等
担い手確保等支援事業 2, 377万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	○ 簡易水道特別会計
主な歳入減	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	補正額増 1, 034万円
町営住宅建設 ▲1億5, 966万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	総額 1億5, 109万円
原案どおり可決成立しました。	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	(主在内容) 運営基金積立増
補正額 3億6, 809万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	○ 病院事業会計
総額 81億4, 233万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	補正額増 2億5, 984万円
主な歳入増	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	(主在内容) 病院運営費補助金
地方交付税 3億3, 520万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	
地方創生加速化交付金 7, 616万円	津南ロツジ改修等	地方創生加速化交付金 7, 616万円	

### 陳情・意見書

軽度外傷性脳損傷・脳しんごつの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情 **全員賛成で採択**

右記についての意見書を国に提出しました。

### 発議案

津南町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

**要旨** 津南町特別職報酬等審議会で議員報酬引き上げが答申されたことを受け、将来の幅広い人材の確保のために、報酬を増額する改正です。

賛成9、反対4 [可決]

## 3月定例会議決結果

議案番号等	件名	採決状況	議決結果
3	魚沼地域胃集団検診協議会の廃止について	全員賛成	原案可決
4	魚沼地域胃集団検診協議会規約の変更について		
5	魚沼地区障害福祉組合規約の変更について		
6	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	賛成多数(11:2)	
7	津南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
8	津南町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
9	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する制定について		
10	津南町職員の降給に関する条例の制定について	賛成多数(11:2)	
11	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全員賛成	
12	津南町行政不服審査会条例の制定について		
13	津南町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について		
14	津南町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について		
15	津南町税条例の一部を改正する条例の制定について		
16	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数(11:2)	
17	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数(12:1)	
18	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数(12:1)	
19	津南町訪問看護事業の設置等に関する条例の制定について		
20	津南町職員の退職管理に関する条例の制定について		
21 24	指定管理者の指定について(美雪町集落開発センター、津南町テレビジョン共同受信施設、津南町所平克雪管理センター、津南町地域駐車場)	賛成多数(11:2)	
25	指定管理者の指定について(津南町健康増進施設)		
26	指定管理者の指定について(津南町高齢者生活福祉センター)		
27	指定管理者の指定について(ニュー・グリーンピア津南スキー場)	全員賛成	
28	平成27年度津南町一般会計補正予算(第11号)		
29 32	平成27年度津南町特別会計補正予算(国民健康保険[第3号]、介護保険[第4号]、簡易水道[第3号]、下水道事業[第2号])		
33	平成27年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		
34	財政調整基金の処分について		
35	平成28年度津南町一般会計予算	賛成多数(11:2)	
36	平成28年度津南町国民健康保険特別会計予算	全員賛成	
37	平成28年度津南町後期高齢者医療特別会計予算		
38	平成28年度津南町介護保険特別会計予算		
39	平成28年度津南町簡易水道特別会計予算	賛成多数(11:2)	
40	平成28年度津南町下水道事業特別会計予算		
41	平成28年度津南町農業集落排水事業特別会計予算		
42	平成28年度津南町病院事業会計予算		
43	津南町過疎地域自立促進計画の策定について		
44	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
45	津南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		
46	津南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		

# 一般・特別会計討論

## 一般会計予算

### 反対討論

藤ノ木浩子

反対理由の一つは、看護師確保を町政の最優先課題と位置づけ取り組むべきだと考えるからだ。地域医療の確保は自治体の責任であり、そのために必要な医療スタッフの確保が今最重要課題である。町長は「一病棟が維持できるように看護師確保に努力する」と答弁したが、今後5年間で16名の看護師が退職する。一病棟維持も危惧している。町長の本気度が感じられない今日、経営改善に向かうかも疑問だ。療養病床が復活できるように看護師確保対策をすべきだ。

二つ目に、臨時職員の労働条件の改善が必要であるからだ。賃金は年収200万以下がほとんどである。厚労省の通知等もふまえ、一人一人の働く権利を守る労働条件の改善を求める。三つ目に、子育て支援をより充実させるべきと考えるからだ。保育料軽減は国の施策待ちでなく、町独自で積極的に進めるべきだ。雇用が悪化しているなかで影響を受けている若者世代を支援すべきであり、町民の暮らしを守っていただきたい。

### 賛成討論

石田タマエ

国の地方財政計画は年々厳しさを増しているなかでの平成28年度一般会計予算75億300万円は、対前年比10.4%の増であるが、特に国庫支出金や有利債の大幅な増は、積極的な予算編成であると評価する。また、「津南の水」の販売が軌道に乗り、税収増が実感できる年度となった。福祉施策では、地域活動支援センターを町の中心地で着手することは障害環境のさらなる充実となる。農業振興では、特別栽培米作付け取り組みへの補助制度を新設し、津南ブランドをさらに押し上げると期待する。住宅関連では、老朽化した町営住宅の計画的な更新や、要援護世帯への改修工事の補助率アップは、住み慣れた地域での継続した生活を支援する施策であると評価する。新規の公共施設等総合管理計画策定事業により、町内の公共施設の適正管理ができるように期待し、さらなる自主財源確保を願って賛成討論とする。

## 国民健康保険特別会計

### 反対討論

藤ノ木浩子

反対理由の一つは、国民健康保険加入者の状況として、低所得者が多いことに対策が不十分だからだ。国民健康保険資格者の所得階層別人数では、所得ゼロが38.7%、百万円未満まで69.27%、二百万円未満で87.7%、国民健康保険料の負担軽減が必要である。

二つ目に、無職の方、非正規労働者などが多く加入する国民健康保険は、適切な国庫負担なしには成り立たない制度であり、十分でないからだ。国民健康保険歳入に占める国庫支出金の割合は毎年削減されている。平成20年度は26.3%であったが、平成26年度は21.52%、5%も減っている。国庫負担割合を改善し、増額へ転換しない限り、国民健康保険加入者と自治体の負担となっていく仕組みは変わらない。

三つ目に、資格証、短期保険証の発行や差押え等の罰則で、町民の医療受診を抑えることはすべきでないと考ええる。親身な生活相談が重要である。

## 介護保険特別会計

### 反対討論

藤ノ木浩子

反対理由の一つは、「保険あつて介護なし」の方向へますます進む介護保険は、社会保障としての役割を果たしていないと思うからだ。国は社会保障のため

と消費税を増税したが、介護保険制度では、特養施設入所が要介護3以上からでないとし込みもできなくなった。平成28年度からは、要支援1・2が保険から外され、さらに要介護1・2の生活援助まで保険から外される議論が始まっている。これでは暮らしていけない。

二つ目に利用料、保険料の負担が大きいことにある。国民年金から介護保険料の標準額を引きは、生活そのものを脅かすものとなっている。また、個人の財産に踏み込んだの利用料2割負担はすべきでない。三つ目に、介護現場の人手不足や低賃金におかれている現状を打開するためには、介護労働者の処遇改善が最も要の問題である。国への改善要望を上げること、町独自の支援策も検討願いたい。

### 賛成討論

石田タマエ

毎年毎年増え続ける要介護認定者への対応が追いつかず、国を始め、各自自治体は財源確保に苦慮している現状である。

そのようななかにあつて、平成28年度介護保険特別会計予算18億1,066千円に対し賛成する。

第6期介護保険事業計画に基づき、住み慣れた地域で安心して

て住みつづけられる環境整備の一つとして、住民ニーズの高い入所施設として地域密着型介護施設の開設が平成28年秋に予定されている。また在宅支援として、津南病院での訪問看護ステーションの立ち上げは、在宅での医療ニーズに応え、安心できる在宅ケアにつながる。

要介護認定者施策とあわせて、今後、急速に進む高齢社会を目の当たりにして、何といたっても介護予防の成果を上げることには尽きる。今後さらに、効果が見える介護予防の推進を願って賛成討論とする。

## 総括質疑

### 国民健康保険料の負担軽減を

藤ノ木浩子

**問** 28年度の国民健康保険料は据え置くとしたが、法定外繰り入れを削減せず、増額して町民負担軽減を図るべきではないか。

**町長** 国民健康保険は高齢者や低所得者が多く、財政基盤が脆弱である。国は財政上の構造的な問題を解決するため、国、県、町で負担し、1,900万円繰り入れを行う。法定外繰り入れを抑えるため減額したが、財政調整基金から繰り入れ、国民健康保険加入者の負担が増えないようにしている。

### 町内に2つの文化施設が必要か

石田タマエ

**問** 上郷クローブ座に200万円を超える管理委託料が予算化されているが、今後、文化センターと上郷クローブ座の2つの文化施設を維持していく意義は何か。

**町長** 上郷クローブ座は日常的な文化イベントではなく、国際的な文化イベントではなく、国際的なイベント集団の利用などを考えている。すでにシンガポールの団体から予約を頂いている。将来的には、委託料を払わないようにしていきたい。

### 総合戦略で高齢者の住まい対策は

栗原洋子

**問** 高齢者対策で「住まいについても施策を講ずる」とあり高齢者支援住宅の整備に取り組みしている。平成25年実施のニーズ調査で、「住まい」について「冬期間合わせて944人もの方が高齢者住宅を利用したい」と回答。住民の要望に応えられるか。

**町長** ニーズ調査の結果からも十分な供給ができていない。高齢者向け住宅の必要性は十分認識している。継続して検討していく。

### 健全財政維持のための施策を問う

風巻光明

**問** 予算の歳入で地方交付税は横ばい、町税も減少傾向だ。歳入が伸び悩む中、一般会計から特別会計への繰出し金が一、2億円増加している。また財政調整基金も15億円あったが、28年は半減となり今後の財政状態が危惧される。健全財政を維持していくための施策を問う。

**町長** 特別会計への繰出しは基準で行うのが基本だが、現実的には不足分を一般会計から補ってしており苦慮している。健全財政維持のためには、合理化や

経費削減など、一般的な事業の見直しを進め、大改革も必要と考えている。

### 津南独自の高齢者対策は

半戸義昭

**問** 高齢者社会が叫ばれる今日津南町ではどのような支援が行われているのか。

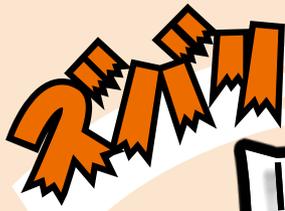
**町長** 冬期間生活の安心感をもってもらうために福祉アパートへの入居、民生児童委員による高齢者独居家庭の見回り、パトロールや給食、配食サービス、また、遠距離の方へのタクシー券の交付、要介護世帯への屋根雪除雪への助成、家事援助事業など行っている。

### 予算に託した夢や希望は

桑原 悠

**問** 平成28年度予算のなかで、町民はどこに夢や希望を抱くことができるか。

**町長** 町長就任以来、津南ブランドの確立を目指して運営してきた。津南ブランドは徐々に認知されているのではないかと感じている。今のやり方を継続し、農産物の販売促進や観光振興につなげたい。町民のみならず一緒に考えて考え、行動していただくことが夢や希望につながる。



# 町政を問う!!



## 一般質問 (10議員)

- 1 村山道明** 議員 (10 ページ)  
1、大船団地建設は計画どおりか  
2、ふるさと納税寄付金を農業施策に
- 2 中山 弘** 議員 (11 ページ)  
1、電力自由化の説明を
- 3 恩田 稔** 議員 (11 ページ)  
1、人口減少にどう向き合うか  
2、空き家対策は
- 4 半戸義昭** 議員 (12 ページ)  
1、人口減少による地域への影響は  
2、子どもの貧困の現状は
- 5 藤ノ木浩子** 議員 (12 ページ)  
1、信濃川筋の医療検討会を  
2、津南病院の立ち位置は

- 6 風巻光明** 議員 (13 ページ)  
1、情報・通信のインフラ整備を
- 7 桑原洋子** 議員 (13 ページ)  
1、看護師確保の取組みを本気で  
2、投票率向上への取組みを
- 8 大平謙一** 議員 (14 ページ)  
1、津南町人口ビジョンの具体的戦略を  
2、集落維持と兼業農家対策を
- 9 石田タマエ** 議員 (14 ページ)  
1、公共交通体系の抜本的見直しを  
2、子育て支援を高校卒業まで拡充を  
3、近隣市町並みの福祉施策を
- 10 桑原 悠** 議員 (15 ページ)  
1、定住促進の住宅政策は  
2、東京電力との関係構築は

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 大船団地建設は計画どおりか

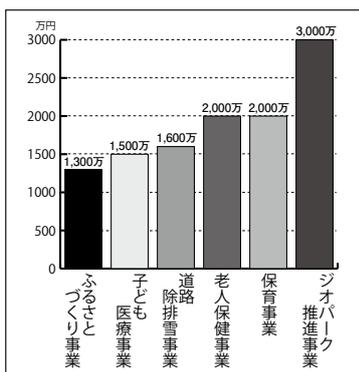
町長 平成28年度予算配分は、現時点では確認できないが、大船団地も結露と老朽化に伴う早期改善が必要。各方面の連携・連絡を確認し合いながら、予算組みをしている。これからも国の予算を獲得すべく動いていく。既存の団地前で建設可能なら、敷地内の消雪施設と排水処理施設程度で整備が済むのではないかと考えている。

町長 美雪町・大船団地両住宅建設関連に、約8億円と予想以上に予算計上されている。年々公営住宅事業費配分が減少するなか、交付金等が配分できて計画どおり建設執行できると承知してよいか。また大船団地周辺の河川、道路の整備改修が必要かどうか。

事業交付金等採択の見通しは



村山道明 議員



寄付金の使い道

町長 平成28年度認証米は、条件を満たす・満たさないに関わらず、取組んだ作付面積10a当り3,000円の補助を行なう。さらに条件を満たした米は1俵当り500円を補助する。アスパラガスは、平成28年度4.5haの新植事業を実施し、産地形成したい。

町長 ふるさと納税寄付金が、1億6千万円に達している。寄附返礼品希望は「津南産コシヒカリ特別栽培米」が58%、続いて「グリーンアスパラガス」と津南を代表する農産物である。この制度を活用し、継続的なリピート購入に向けて生産農家の意識を増進させる支援措置を講じて欲しいかどうか。

寄付金を農業施策に

# 電力自由化の説明を



中山 弘 議員

## 行政の説明は

**問** 電力会社から新料金プランやウェブサービス、会員登録録案内があるが分かりづらく、行政からの説明があってもいいのでは。

**町長** 新電力事業者や従来の10社も1月から提案している。町として業界団体がまとまって要望した内容であれば検討できる。千差万別の内容は説明できないが、便乗商法や詐欺の注意喚起は必要である。

**問** いち早く公共施設の電気料金見直しが必要ではないか。

**町長** 既存施設の電力契約や使用料がどのようになっていくのか、どんな企業が参入か、どの見直しが料金減額になるのか調査研究を行い、具体的な対応を検討する。

**問** 現使用電力会社から地元電力会社への乗り換えは。

**町長** 東京電力に確認したところ、制度上は可能であるが、

提供は関東、関西、中部エリアに限定しており、東北エリアは対象外ですぐには変更できない。将来変更ができた場合は料金プランの安くなる会社に変更しなければならぬ。

**問** 新電力導入の考えは。

**町長** 今後さらに増加が見込まれている。東北電力エリア管内を供給予定地としている事業者は27社あり、各種特典の提示など多種多様なサービスを公表している。家庭向けの電力自由化になったことが最大のメリットである。郷土愛が強くて地産地消にこだわりたいなら地元企業から買う選択もあり、十分検討し納得のいく企業から購入していただくことがよい。

**問** 小水力発電増設や再生エネルギー開発の考えは。

**町長** 昨年より雑水山第二発電所が稼働している。バイオマス発電は各種コストと発電コストを考えると難しい。太陽光発電は検討していく。



雪国ソーラーパネルの可能性

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 人口減少にどう向き合うのか

## 人口ビジョンへの対応は

**問** 平成52年の人口目標が7,300人とあるが、行政区別住基人口についてはどのような考えか。

**町長** 行政区ごとの人口の推移は把握していないが、概括的に見て中心地より山間部の減少が多くなると推測される。

**問** それでは高齢化率を調べることはできないか。

**総務課長** 人口と同様に難しいが、おそらく50%以上になると推測している。

**問** 人口目標を公表したのであれば、全体だけではなくもう少しミクロの部分を見るべきで、どのような予算が必要なのか、どんな環境整備をすればいいのか明確になってくると思うか。

**町長** 調査は必要であると思うが、数字を公表することが逆にマイナスになってしまう

おそれもある。

**問** 数字が明確になれば、中心地に出る人が増えるかもしれないが、集落、地区を何とかしようとする人も必ず出ると思う。そういった空気をつくる良い考えはないか。

**町長** 旧村単位のローカルコミュニティを再構築するなかで、地域を守っていくこととする発意をもった共同体を作っていく。何が出来るか行政もじっくり考え、そのための財源の確保にも意を凝らしていく。

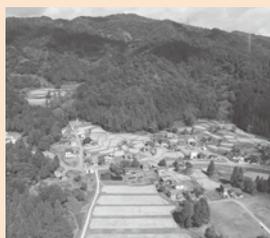
## 創生総合戦略、空き家対策は

**問** 移住・定住を推進している割には空き家バンクへの登録数が非常に少ない。積極的に登録してもらう施策が必要ではないか。

**町長** 個人の所有物であることから積極的な働きかけはしていないが、今後が増えることが予想され大きな問題である。平成28年度は本格的な調査を検討している。



恩田 稔 議員



山間地集落の生き残り策は

# 人口減少が及ぼす影響は



半戸 義昭 議員

**地域にもたらす影響は、  
町民の負担増にはならないのか**

**問** 人口減少について、津南町も例外でなく平成32年には1万人を割り込み9,000人台に、その10年後には7,000人台と予想されている。平成37年には生産年齢人口と老年人口が逆転すると予想されるなかで、生活に関連したサービスが今後どのようなようになっていくか心配される。税収減による行政サービスの低下、公共交通の縮小、耕作放棄地の増加などさまざまな影響が懸念されるがその対策は。

**町長** 町施設の維持管理は公共施設等総合管理計画を策定し、現状や課題、財源見込みの分析を行う。病院は機能拡充に努めるが、問題は財源の確保にある。下水道の維持管理は全国的な問題であり、町としても今後総合管理計画もとに調査していく。



維持管理が心配される下水道施設

**児童の貧困が問題になって  
いるが津南の現況は**

**問** 全国では子どもの6人に1人が貧困と言われているが、複雑化する社会情勢のなかで、支援が十分であるか、支援を必要とする児童がどの程度いるか。

**教育長** 18歳未満を有する一人親家庭86世帯、子ども122人、町単の母子父子手当給付者32世帯、要保護・準要保護児童は26人であり医療費の助成、教材費の助成など行っている。現行の支援策で十分とは思っていない。さらなる支援策については国、県などの動向を注視しながら検討していきたい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 信濃川筋の医療を考える検討会を



藤ノ木 浩子 議員

**信濃川筋の医療の  
動きは見えにくい**

**問** 魚沼地域の医療再編は「地域全体でひとつの病院」というおぬま通信」が伝えている。高度医療、救急医療を担う魚沼基幹病院とその周辺病院が医療連携し、ひとりの患者に対応するものと理解するが、これだけでは信濃川筋の医療の動きは住民に見えにくいのではないか。県は今後、医療ビジョン策定に入ると思いますが、信濃川筋の病床をどう考えるか、そのための検討会を設けたらどうかと考えるが町長の考えを問う。

**町長** 県はまだ医療ビジョン策定に取りかかっていないが、昨年は魚沼圏域の大きな医療再編があった。一市町村として取り組みに協力していくし、信濃川流域市町村の検討会に関しても、県から打診があれば協力する。



津南病院の立ち位置を明確に

**問** 地域でひとつの病院となると津南病院の立ち位置をどう考えているのか。

**町長** 基幹病院、中核病院の完成で魚沼地域の医療は劇的に変わってくると述べてきた。その流れは津南病院に伝わってくる。私は施設開設者であって、経営者でないので病院関係者の方々が一生懸命考えてもらっている。

**問** 信濃川筋で入院ベッドは3割減り、療養病床ゼロとなる。深刻な看護師不足の問題があり、地域医療をどう守るかの議論が重要だがどうか。

**町長** 病床回転率や人口減少など一つ一つ相対的に考え、検討していく。プラス、マイナズ議論では解決しない。十日町市、津南町だけでなく必要に応じそうした場があってもよい。

# 町で情報・通信のインフラ整備を進めよ



風巻光明 議員

**問** 近年子どもを巻き込んだ悲惨な犯罪が増加している。犯

## 町内に防犯カメラの設置を

**町長** 当町では災害時には広報無線や防災メール等で流している。また県総合防災情報システムを介して市町村で入力するとテレビやデータ放送で広く知らせることができ、可聴範囲とすることは、中継局の設置など費用対効果を検証したうえで慎重に判断したい。

## 「エフエムとおかまち」を津南町でも可聴範囲に

**問** 現在、県内エフエム局は12局あり、災害情報やイベント情報などが発信され、地域コミュニティのメディア媒体としてまちづくりに大いに貢献し期待されている。しかし通勤時にカーラジオなどで町内で「エフエムとおかまち」を聞くことはできない。聞けるようにできないか。

罪の解明は防犯カメラにより犯人逮捕など大きな決め手となっている。現在、町にはごく限られた所しか設置されていない。今後の防犯対策として町の主要箇所には防犯カメラを計画的に設置すべきと考えるが見解を問う。

**町長** 現在町の施設では文化センターとなじよもんの2カ所だけ設置されている。人が多く出入りする総合センターも該当するので、教育委員会と協議して検討を進めたい。また計画的に整備していきたい。

## 外国人観光客向けに公衆無線LANの整備を

**問** 外国人観光客の誘客には無線LANの整備が必須アイテムだ。町の今後の取組みについて問う。

**町長** 今年度は役場庁舎内となじよもんに設置予定。また県単補助事業もあるため要望していきたい。



ラジオを聞きながらの生活もまた楽しい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 療養病床再開へ看護師確保本気で



栗原洋子 議員

**問** 休止の病床フロアを「ケア

## 町の責任で庁舎内スタッフ配置を

**町長** 津南病院の療養病床は2月から休床し、62床1病棟体制になった。やむなく群馬の施設へ移った方もいると聞く。状況は深刻だ。これで地域医療が本当に守れるか問う。

**町長** 療養病床は長期入院できる病棟ではないという認識をまず持っていたいただきたい。

**問** 今後5年間で看護師が16人定年退職予定である。確保対策に専門スタッフ配置を提案してきたが、本気で探す姿勢は見えない。若い人にとつて山間地は好条件とは言えない部分がある。地域医療を守る使命感と気概も必要だ。並大抵なことでは来てくれない。優秀な人材を町の責任で庁舎に配置すべきではないか。

**町長** 専任スタッフは現在配置する考えは持っていない。

**問** 休止の病床フロアを「ケア

## 町の責任で庁舎内スタッフ配置を

八ウス」といいう計画があるが将来療養病床を再開できるのか。住民の声をどう受け止めたのか。

**町長** これからの医療、福祉を考えた利活用が最も望ましいと考えるが、住民の声はいただいていない。

**問** 有志の「病院を守る会」は、県交渉で新十日町病院併設の看護学校設置について進捗状況を聞いたが、県は「まだお話しできる状況ではない。方針は未定。」と述べている。町と十日町市が要望書を提出して2年近くになる。この間県とどんなやりとりをしているのか。

**町長** 昨年3月に設置の方針を出していただいた。27年度中に検討を進め、案がまとまれば説明があるものと考えている。

## 投票率向上に柔軟な取組みを

**問** 高齢化が進むなか、地域の実態に合う柔軟な取組みを。

**選挙委員長** 今後、送迎を投票所まで2キロ以上ある集落に広げることが検討したい。啓発運動も進めていきたい。



住民の願いは訪問看護ステーション実現へ

# 津南町人口ビジョンの具体的戦略は



大平 謙一 議員

**実行できる具体的施策を示すべきだ**

**問** 津南町の人口は減少の一途である。対策を示せ。

**町長** 2040年に7,317人と推計し、津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略提言事業や国、県の補助事業を活用し施策を行っていく。

**問** 若者が津南に残らない原因は何か町長に問う。

**町長** 町での職業の選択肢が少ないこともあるが、子どもを津南に勤めさせたがらない親もいる。町全体での取組みが必要である。今後、町内企業の情報発信や学校での総合学習の中で地域を支える人材を育てたい。

**集落維持と兼業農家対策を問う**

**問** 町の農業就労者は特に高齢化している。農家は後継者不足で農家数が激減すると思う。

集落維持対策を問う。

**町長** 新規参入者などへの支援、新規就農者への資本整備の補助や農地・水保全組織の支援などを通じ、後継者育成、集落支援を行い集落維持に努めたい。

**問** 兼業農家について、国の農政は大規模化への一途である。兼業農家への対策を示せ。

**町長** 兼業農家は国全体で67%を占める。また米生産の60%を担っている。津南のようなか中山間地では重要な担い手であり、集落営農などを推進しコスト軽減を図り地域の担い手として頑張っていたきたい。



中央地区でも懸念される人口減少

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 誰でもが暮らし続けられるまちを



石田 夕マエ 議員

**公共交通体系の抜本的見直しを**

**問** 小学校や保育園の統合が進められ、一方では地域医療体制も劇的に変わりつつある。

通学・通院手段としての公共交通機関はこの地域には重要な役割を果たすものであり、それぞれの生活の質を左右しかねない地域課題である。公共交通体系の抜本的な見直しが必要と考えるが見解を問う。

**町長** 公共輸送機関の重要性は論を待たないが、受けていただく事業者がいなくてできない。また、国、県の補助がないと財政的に困難である。

**問** このままでは人口減少が加速し、将来住みにくい町になるのではないか。

**町長** 国、県に補助金のあり方についてなお一層訴えたい。

**子育て支援を高校卒業まで**

**問** 高校生の7割から8割近く

の生徒は町外の高校に通っている。最寄りの駅や十日町行きのバス停までは親が送迎をし、津南から十日町までの交通費が月額1万円前後かかる。高校生の通学は地域課題と捉え、高校卒業まで子育て支援の範囲とすべきと考えるが見解を問う。

**町長** 高校教育での支援は財源が必要となり現段階では困難である。

**近隣市町並みの福祉施策に**

**問** 障害者が利用施設に通うための交通費に対して、近隣では交通費補助がなされている。昨年も提言をしたがはかどらない。早急な取組みを望むがどうか。

**町長** 近隣市町の制度を勘案しつつ現在制度設計をしている。新年度の早い段階でできる限り制度整備をしたい。



卒業後は町外の高校へ

# 大企業とどんな関係を構築していくか



桑原 悠 議員

## 定住促進の住宅政策は

**問** 以前視察した長野県下條村のような若者定住促進住宅を整備することは民業圧迫になりえ、また、家族別居を奨励することにもなりかねず、難しい一面もある。ただ、若い世代やUターン希望者の中に住宅のニーズがあり、家族のかたちにも関わる住宅の問題に公がどこまで関わるか考えたい。制限付きで月2万円程の民間アパート家賃補助を提案するがどうか。

**町長** 今、子育て・定住対策として、空き家の教員住宅を利用した低料金住宅を10世帯に貸し出している。米原の子育て支援住宅に空きがあり、受付中である。応募が多く、倍率が高くなった場合、住宅政策について色々な面から考えなければならぬと課長会議で話している。

さて、民間アパートの家賃

補助については、町営の住宅が常に満室状態となった場合、アパートや借家で暮らしている子育て世代との不均衡を是正するために、制限付きで可能かどうか検討したい。まずは町内の実態調査を行いたい。

## 大企業とどんな関係構築を

**問** 古くから水力発電事業で電気エネルギーを提供している町として、ストーリー化を文化財保護として行い、それに東京電力からも協力者になつてもらい、共に観光をはじめ盛り上げていくことが重要だと考えるがどうか。

**教育長** 水力発電を苗場山麓ジオパークの観光ルートの一つとして整備する価値は十分ある。雪、豊富な水量、高低差の3つのジオ的要素に関連づけたトレッキングコースなどの整備を進めたい。

**町長** 今でも、トロッコの橋脚が残っていることから、「歴史的モニュメント」として整備しませんか」と東電と話をしている。



壮観な水力発電を眺めて

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 事務局人事

### お世話になりました



丸山 吉松  
議会事務局に  
お世話になり、

あつという間に3年が過ぎました。「町民のための議会」、「町民によりそう議会」を目指す津南町議会に微力ながらお役に立ちたいという思いで過ごしてまいりました。

この間、議会ホームページのリニューアルがされ、情報提供がより多くされるようになりました。また議会議員の定数が削減され14人となりました。この定数削減に当たっては全町に対してアンケート調査を行うなど、皆様のご意見を伺う良い機会であったと思います。町民の皆様にとって「開かれた議会」となるようご期待申し上げます。議員各位のさらなるご活躍を祈念し、退職の挨拶といたします。ありがとうございました。

### よろしく願います



村山 詳吾  
このたび議会  
事務局長という

重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地方創生の実現に向けて、当町も「津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、それを基にした平成28年度からの「津南町総合振興計画 後期基本計画」を取りまとめました。全国的な人口減少の中、当町においても少子高齢化がさらに進んでいきます。今後はこの計画された事業を、住民・行政そして議会がともに力を合わせて具現化していくことがとても重要だと思います。

微力ではございますが、円滑な議会運営に一生懸命努めさせていただきたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 総文福祉常任委員会

### 【教育委員会との懇談会】

とき 1月20日(水)  
ところ 町役場会議室

内容 平成28年度の教育委員会の方針と具体的な取組みについて伺いました。

昨年7月に策定された、町教育大綱で示されている目指す教育の方向性や、保育園部門との統合、またその成果を伺いました。広報紙「育ネットつなん」を参考に説明を受けました。特に、保育園と小学校の連携(みらい教室)の充実・津南小学校の特別教室増築や学力向上などの課題が見えてきました。

### 懇談を終えて

未満児保育解消に、ひまわり保育園「未満児棟」が完成しました。さらに「子育て教育館」の検討や津南小学校増築など保護者が寄せる期待に、出来る限り協調していきたい。「育ネットつなん」の理解が必要であると感じました。

(担当 村山道明)

### 【財政勉強会】

とき 2月22日(月)  
ところ 町役場会議室

内容 当委員会では、所管事業について見識を高めるため、定期的な勉強会を行うことになっています。

今回は、財政について総務課の上村企画財政班長を講師に行いました。

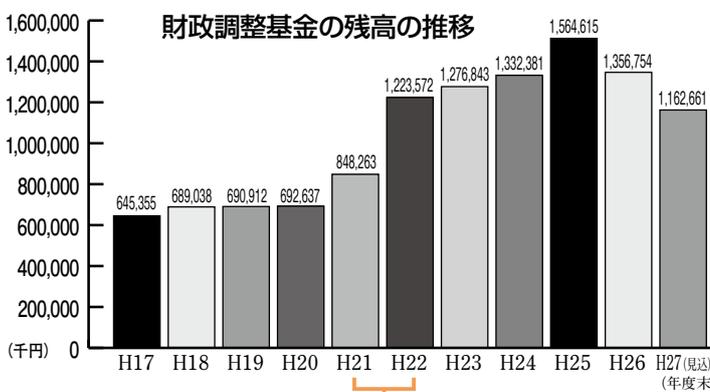
「財政」とは、町民のみならずの税金をはじめ、地方交付税、国県の補助金、町の基金、町債などのあらゆるお金を元に、生



増築されたひまわり保育園

活に関する様々なサービスを行う活動のことを言います。なかでも、

- ①基金はどうなっているか。  
「積立基金」である財政調整基金、目的別基金、減債基金の内容と残高  
・「運用基金」である育英基金、高額療養費基金の内容と残高



一言メモ・平成21年度から22年度にかけて残高が増加した要因は、当時の麻生内閣で、経済不況の緊急対策として地方に予算付けが多く、積み立てる額が多くなったため、その後も、積立金の増加傾向が続いたが、そろそろ打ち止めか。

・徐々に取り崩しが進むであろう財政調整基金の残高将来見通し

- ②町債はどうなっているか。  
・起債の根拠法令(地方財政法、過疎地域自立促進特別措置法など)  
・町債の種類と現在高、残りの償還年数  
をつぶさに知り、財政班長と率直な意見交換を行いました。将来の財政運営を考えるうえで示唆に富んだ内容でした。

### 勉強会を終えて

昨今、基金取り崩しや起債が多くなっていることが気になっていました。

当町の健全財政は過去から現在までの遺産と言える一方で、今後は人口減少の加速化に伴い、財源確保が厳しい見通しとなるため、予算の使い方について改革が求められ、議会にはより活発でシビアな議論が求められると感じました。

(担当 桑原 悠)

# 委員会レポート

## 産業建設常任委員会

### 【税関連の勉強会】

とき 1月6日（水）  
ところ 町役場会議室

内容 村山税務町民課長、鈴木税務班長を講師に招き、税制の動向と所得税控除の概要や、マイナンバー制度、軽自動車税の改正点、ふるさと納税者対応、控除の仕組み、外国人の扶養控除などの説明を受けました。

マイナンバー情報は、住所、氏名、生年月日、性別であり、税情報、生活保護情報などは独立した機関が管理しています。税上では不公平をなくすことが大きな目的です。

軽自動車税はこの4月から増税され、原付自転車（50cc以下）では1,000円から2,000円になります。ふるさと納税の住民税対応は本人申請によって市町村間調整することも学びました。

### 勉強会を終えて

今回は身近に関係した税について勉強しましたが、様々の税

についても勉強の必要性があると思いました。

（担当 半戸義昭）



勉強会の風景



## 津南町農協・農業委員会との懇談会

とき 1月25日（月）  
ところ 町役場大会議室

内容 津南町農協より平成27年度の事業取組み概要及び次年度の計画等の説明を受けました。内容は、

①日本の農業政策が大転換を迎える中、自己改革を積極的に進め、多様な農業者ニーズへの対応や担い手の育成に取組み、消費者ニーズに応え、生産高の拡大と農業者所得の増大が重点方針として示された。②農業委員会法の改正により、選挙制度は廃止され、町長の任命制へと変わる。③業務の重点も農地利用の最適化の推進と明確に位置付けられた、等々。取り巻く環境は大変厳しいですが、今後とも農業者が夢と希望を持って、農業経営を意欲的に取組める環境づくりを、今後とも町農政へ働きかけたいと考えます。

### 懇談を終えて

就農人口の増加策についての意見交換を行いました。人口減少や高齢化が進み、将来への不

安の意見が多く出されました。行政からはスイートコーンやアスパラなどの需要の見込める作物の生産拡大や機械化の可能な作物の試験栽培を推進するとの説明がありました。難しい課題ですが、それぞれの組織が問題を共有し協力しなければならぬと考えました。

（担当 恩田 稔）

### 【津南町異業種交流会】

とき 2月12日（金）

ところ ニュー・グリーンピア津南  
内容 この会では各企業が自社の取組みと業績や今後の見通し問題点、町への要望、企業間の融和など多彩な話題があり有意義なものとなっています。企業からは11社の参加がありました。町からは副町長、議長、産建委員長の参加でした。

### 交流会に参加して

企業は製造業を中心に世界に通用する製品を製造し頑張っていると感じました。異業種交流会は今後も続けるべきと思います。

（担当 大平謙一）



## シリーズ・町民の声 私もひと言



ふく はら しょう こ  
**福原 章子**さん (外丸本村)

生まれてから一度も実家を離れて暮らしたことのなかった私が、津南で暮らして14年目。津南町は季節の薫りや風景が育ったところに似ていて、とても落ち着き、地域の方々にも来てすぐに親しみを感じました。そして、実家にいた時と同じように、心地よく過ごしていただけるのは、津南のやさしい家族と愛犬シャーマと一緒にいてくれるから。仕事から帰ると玄関の灯をつけて待っていてくれるのが、うれしいしホッとします。

また、私にとってWaの仲間やここへ来てからの出会いは貴重です。1人で出来ることは限られるけれど、みんながいれば何とかできる！そんなみんなと取り組んでいる「GEO 河岸段丘花火」は、本当にたくさんの方に支えられ、今年で11回目を迎えます。これからも、途切れることなく開催していけたらいいなと思います。みなさんに助けられ、私の津南暮らしは続いていきます・・・感謝。

### Waとは・・・

和、話、輪…。ひとり一人の小さなことを、思い思いの「わ」で大きくしカタチにできるネットワーク。新潟県津南町や近隣地域での「コト」や「情報」を共有し、子どもをはじめ誰もがみな「楽しみ」「親しむ」地域づくりを目指す人たちの集まりです。



大割野雪まつり会場

「津南の雪は、まだまだこんなもんじゃない」と言いつつ春が来ました。年配者の誰もが驚き、生まれて初めての体験のようです。雪の少なさは異常で、3月に「ふきのとう」を食べた方もいました。  
小雪を「ありがたい、楽だのし」との声と「どうする祭り？できねがの」の交差の中でなんとか「つなん雪まつり」を行うことができました。今年 は全国から2会場で12,000人の来町者がありました。ニュー・グリーンピア津南会場はもちろんですが、中心街の会場や歩道に若者があふれ、今後の誘客のあり方や津南観光のヒントが見え隠れしていたようです。①

編集後記